

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 様々な人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

I 沿革

昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定（長瀨町）
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令（2 名増員）、建設敷地等について秩父鉄道（株）と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 10 名発令（5 名増員）
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 19 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9～21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

平成

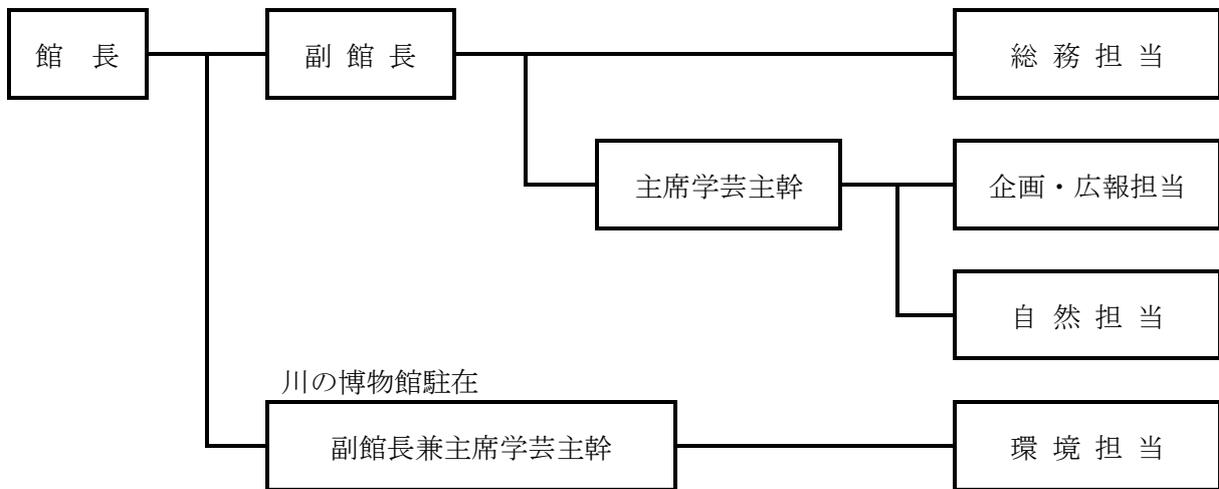
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団から展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19～11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1～第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 462・463 号）
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17～8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5～12.8 特別展「奥秩父の自然」開催

- 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村
豊写真展」開催
- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.12.27 駐車場改修工事完了（第二工区）
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天
然記念物指定（埼玉指第 503 号）
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博
物館」設置
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令（川の博物館長と兼務）
- 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令（川の博物館長と兼務）
- 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令（兼免）
- 20.4.1 環境担当（川の博物館常駐）を設置
- 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用
を探る—」開催*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館
（講師派遣等館外で行う事業は実施）
- 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと
秩父のおごっつおう」開催*
- 24.4.1 館長 渋谷重雄発令
- 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*
- 24.10.6 リフレッシュオープン
- 25.4.1 館長 井上尚明発令
- 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・
ひと・モノ—」開催*
- 26.4.1 館長 井田秀夫発令
- 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者
たち～」開催
- 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地
下資源の利用と人々の暮らし～」開催*
- 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴム
シからゾウまで～」開催
- 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生
態と伝統漁法～」開催*
- 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺
乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及び
チチブクジラ計 3 件県指定解除埼玉指第
462、463、503 号）
- 28.4.1 館長 中村修美発令
- 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催*
- 28.8.12 入館者累計 300 万人達成
- 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物～くらしと植
物のステキな関係～」開催
- 29.4.1 館長 木村博昭発令
- 29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ～秩父山地
のオオカミとお犬様信仰～」開催*
- 29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山～140種の鉱物
のきらめき～」開催
- 30.6.30～9.2 特別展「ハチを知る」開催
- 30.11.3～31.1.6 特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食
～」開催*
- 31.4.1 館長 飯田徹発令
- 令和**
- 1.7.6～2.1.13 特別展「知って！埼玉 化石でたどる 2
000 万年」開催
- 1.7.13～1.9.1 特別展「根・子・ネズミ～ネズミワール
ドへようこそ～」開催*

*印 企画＝自然の博物館、実施＝川の博物館

II 組織及び職員構成（令和2年度）

1 組織



2 職員構成（令和2年4月1日現在）

館長 飯田 徹
 副館長兼主席学芸主幹 伴瀬 宗一
 副館長 小久保 達夫
 ○総務担当
 担当課長 丸岡 康弘
 主任 棚澤 進也
 専門員 大谷 嘉明
 ○企画・広報、自然担当
 主席学芸主幹 君島 勝秀
 ○企画・広報担当
 担当課長 秋山 浩美
 担当課長 森田 知貴
 主任 秋元 清二

○自然担当
 担当課長 曾根崎 猛史
 主任学芸員 井上 素子
 学芸員 須田 大樹
 学芸員 小林 まさ代
 学芸員 半田 宏伸
 学芸員 山岡 勇太
 学芸員 鐵 慎太郎
 ○環境担当
 学芸員 奥村 みほ子
 学芸員 木山 加奈子

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

令和2年3月31日

副館長兼主席学芸主幹 石坂 俊郎 (退職)
 副館長 福島 孝彦 (退職)
 総務担当担当部長 無川 禎久 (転出)
 企画・広報担当担当課長 内田 悟 (転出)
 自然担当学芸員 北川 博道 (転出)
 主任専門員兼学芸員 中村 修美 (任期满了)
 非常勤職員 水島 夏実 (任期满了)

令和2年4月1日

副館長 小久保 達夫 (転入)
 企画・広報、自然担当主席学芸主幹 君島 勝秀 (転入)
 総務担当課長 丸岡 康弘 (転入)
 総務担当専門員 大谷 嘉明 (転入)
 環境担当学芸員 木山 加奈子 (転入)
 自然担当学芸員 山岡 勇太 (新採用)
 自然担当学芸員 鐵 慎太郎 (臨任)
 副館長兼主席学芸主幹 伴瀬 宗一 (配置転換)
 企画広報担当担当課長 森田 知貴 (配置転換)

Ⅲ 施設の概要

1 所在地

埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1

2 敷地面積

9,948.76㎡

3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

4 各部門及び各室の面積

(1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)

エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)、ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)

(2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)

講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)

(3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)

学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)

(4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)

化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)

(5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)

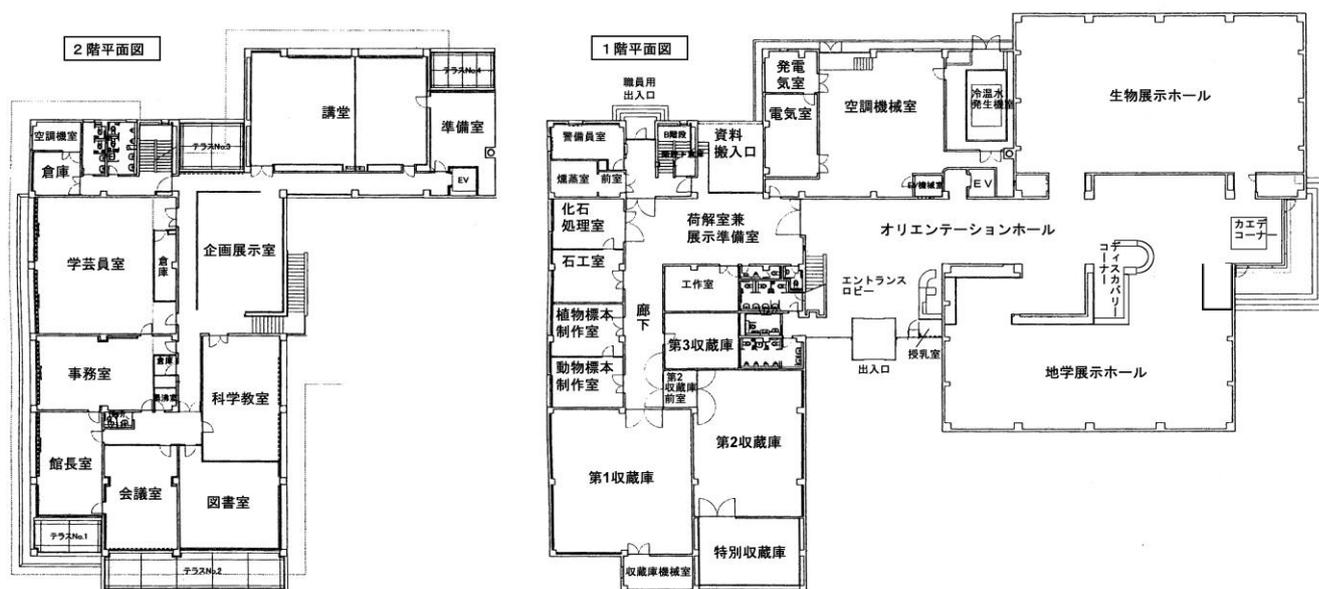
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)

(6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)

館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)

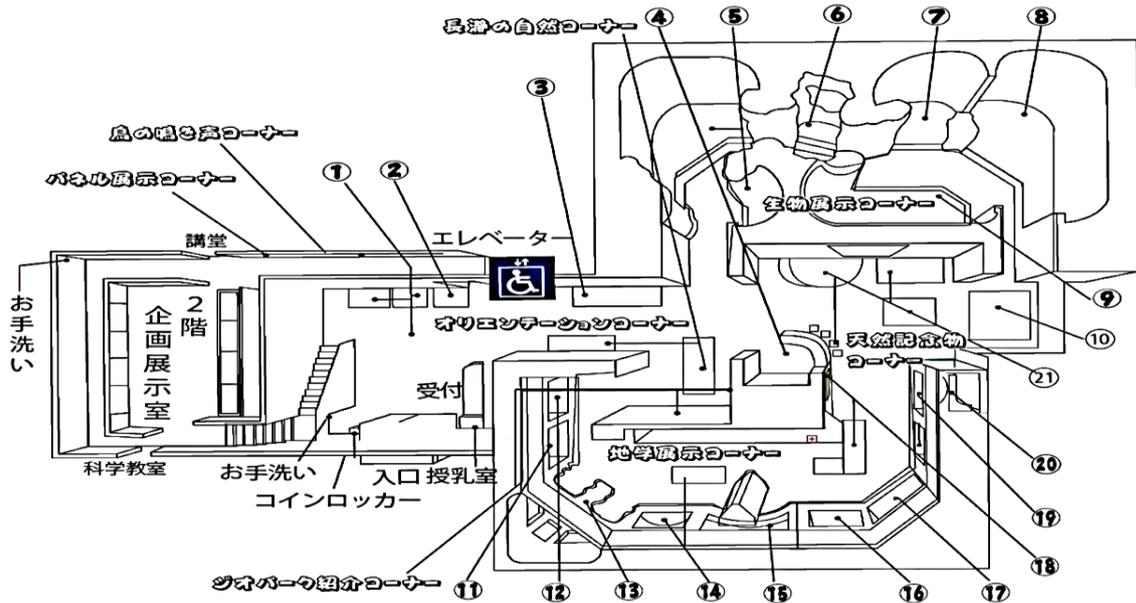
(7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)

エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県のシンボル②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③
(さわれるはく製コーナー含む)
- ・ ディスカバリーコーナー④
- ・ 植物コーナー⑩

◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー
長瀬の地質
秩父・長瀬の地質学史と博物館のあゆみ
長瀬の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層
2億5000万年前の海の様子⑪
秩父帯の地層⑫
秩父鉾山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭
山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
恐竜ガリミムスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯
- ・ 砂泥互層
- ・ 第四紀の化石

- ・ 新時代の幕あけ

第四紀はじめの化石林-メタセコイア⑰

- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
- ・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑲
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

◇ 企画展示室(2階)

○各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示。

◇ パネル展示コーナー(2階)

○季節の移り変わりを写真中心とした展示。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

○身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができる。

V 令和2年度事業計画（令和2年4月1日現在）

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努めます。

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施します。

(1) 常設展示の充実と維持管理

① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナー、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しさを演出。

② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスプレイコーナー、植物コーナーでの展示物の更新を随時実施。

(2) 特別展の実施

① タイトル：「埼玉記念物100年～埼玉の天然記念物ってどう思いますか？～」

期間：第1部 動植物編 令和2年7月4日（土）～令和2年9月6日（日）

第2部 地質編 令和2年9月19日（土）～令和3年1月17日（日）

会場：企画展示室

概要：県内の天然記念物の全てを紹介。他施設との共催でスタンプラリーを実施。広報として、秩父鉄道列車内吊り下げポスター、人気アニメ「埼玉の女子高生ってどう思いますか？」とのコラボを予定。

② タイトル：「楽しい美味しい江戸の水辺」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期間：令和2年7月11日（土）～令和2年9月6日（日）

会場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

概要：浮世絵に描かれた自然と人の暮らしとの関わりについて、江戸時代からの変遷をたどる。

(3) 企画展示の実施

① タイトル：「地図と模型で見る埼玉の大地」

期間：令和2年4月1日（水）～令和2年6月21日（日）

会場：企画展示室

概要：大地の成り立ちと生活や自然災害との関わりについて、地図と模型によって埼玉県の地形や地質をわかりやすく紹介する。

② タイトル：「新収集品展」

期間：令和3年1月30日（土）～令和3年3月31日（水）

会場：企画展示室

概要：平成27年度以降に新たに受け入れた、動物・植物・地質の各分野の資料を紹介する。

(4) パネル展示の実施

- ① タイトル：「写真で見る埼玉県産鉱物」
期間：令和2年4月1日（水）～令和2年6月21日（日）
会場：2階廊下パネル展示コーナー
概要：埼玉県内で産出している鉱物を地図と写真で紹介する。
- ② タイトル：「天然記念物キャラクター大集合！」
期間：令和2年6月23日（火）～令和2年10月18日（日）
会場：2階廊下パネル展示コーナー
概要：埼玉県内の天然記念物キャラクターとその特徴について紹介する。
- ③ タイトル：「#埼玉巨樹番付」
期間：令和2年10月20日（火）～令和3年1月17日（日）
会場：2階廊下パネル展示コーナー
概要：埼玉県にある巨樹を番付表にして紹介する。
- ④ タイトル：「自然博 研究最前線」
期間：令和3年1月30日（土）～令和3年3月31日（水）
会場：2階廊下パネル展示コーナー
概要：自然の博物館学芸員の調査研究を紹介する。

(5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「調べよう！郷土の自然～虫のいどころ・さがしかた～」
期間：令和2年7月11日（土）～令和2年8月30日（日）
会場：羽生市立郷土資料館
概要：昆虫はどんな生き物なのか、形や色、独特の生態など昆虫の全てを紹介する。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

- | | |
|---|----------|
| (1) 自然史講座 | 9回（9日） |
| (2) 観察会 | 8回（8日） |
| (3) ミュージアムトーク | 39回（39日） |
| (4) 各団体との共催・協力イベント | 6回（7日） |
| (5) その他の事業 | 4回（45日） |
| (6) 学校教育や社会教育への学習支援
理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援 | 60回（60日） |
| (7) 指導者対象講座の開催
「教員のための博物館の日」（授業に役立つ自然史体験講座） | 2回（2日） |
| (8) 各種研修会・教育研究団体の受入れ
県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れる。 | 2回（2日） |
| ① 中学校初任者研修（教科別研修・理科） | 1回（1日） |
| ② 中学校5年経験者研修（教科別研修・理科） | 1回（1日） |

- (9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ
- ① 博物館学芸員実習（7日間）
 - ② 中学生職場体験実習（3日間）
 - ③ 大学生県庁インターンシップ（5日間）
 - ④ 障害者県庁職場実習（職場体験コース）（3日間）
- (10) 自然の博物館友の会の活動への支援
野外観察会（5回）、交流会（1回）の支援
- (11) 各種印刷物の発行
- ① 館報 第15号
 - ② 研究報告 第15号
 - ③ ミュージアムカレンダー（イベント年間予定表）
 - ④ ニュースレター「澗」 第35号、第36号
 - ⑤ 特別展「埼玉記念物～埼玉の天然記念物ってどう思いますか？～」
天然記念物観察ガイドマップ、ポスター及びリーフレット
 - ⑥ 川の博物館特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」図録（執筆・編集）及びリーフレット
（企画・構成）
 - ⑦ 企画展「新収集品展」のポスター及びリーフレット
 - ⑧ 展示解説リーフレット
 - ⑨ 自然史講座や観察会のテキストや研究発表会の資料
 - ⑩ 利用促進のためのリーフレット

(12) ボランティアの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高める。

- ① 展示解説ボランティア
観覧者の要望により随時展示解説を実施。 ※年3回の研修会を行う。
- ② 普及事業ボランティア
観察会・講座等の事業の補助。
- ③ 資料整理ボランティア
専門知識のあるボランティアによる標本化作業の補助。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア
博物館の調査研究・資料収集補助。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録、登録標本のチェック
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録、登録標本のチェック
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録、登録標本のチェック
- (4) 無脊椎動物標本の同定と整理、登録、登録標本のチェック
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録、登録標本のチェック
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理

- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管している自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開
- (11) 館内燻蒸のための臨時休館（令和2年9月7日（月）～9月14日（月）の予定）
- (12) 収蔵資料整理のための臨時休館（令和3年1月18日（月）～1月29日（金）の予定）
- (13) 各分野、収蔵登録資料データベースの共通化

5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行う。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努める。
分野別研究テーマ
 - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する現地調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用する。
- (3) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」
令和元年度からの4カ年計画の2年目で、初年度の調査計画策定に続き、実質的調査に入る。都市化が進む4市（飯能・狭山・入間・川越）を流れる入間川の本流域で、山間から平地に至るまでの動植物の生息状況や生息環境、地形や露頭の調査を行い、県内の自然に関する基礎情報を集積する。
- (4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究
- (5) 外部研究者の受入れと活用
外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また共同研究を行って、博物館の基礎的力量を高める。

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組（国指定天然記念物関連事業を含む）

2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた埼玉県版文化プログラムを構築するために次のような取組を実施します。当館における取組は、国指定天然記念物（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）に対する適切な保護及び県民への情報発信が主な事業となっています。（下線は国指定天然記念物関連事業に該当するもの）

- (1) 特別展「埼玉記念物100年～埼玉の天然記念物ってどう思いますか？～」の資料調査・収集・開催
- (2) 指定された露頭の観察会の実施

VI 令和元年度事業報告

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

(1) 歳出決算

(単位：千円)

	H 2 8年度	H 2 9年度	H 3 0年度	R 元年度
管理運営費	16,674	18,834	16,590	18,548
資料収集整理事業費	517	647	593	544
展示・教育普及事業費	7,215	7,188	8,517	16,451
国指定天然記念物の魅力発信 とジオパーク秩父の活用事業	16,650	13,258	3,176	
合 計	41,056	39,927	28,876	35,543

(2) 令和元年度入館者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	4,876	108	4,984	3,702	4	453	4,155	9,139	26
5	5,256	201	5,457	3,622	12	1,280	4,902	10,359	28
6	2,990	151	3,141	2,048	12	797	2,845	5,986	26
7	4,721	158	4,879	4,134	25	1,683	5,817	10,696	31
8	10,546	484	11,030	9,126	13	349	9,475	20,505	31
9	3,430	202	3,632	2,217	8	149	2,366	5,998	21
10	1,899	40	1,939	1,546	31	1,266	2,812	4,751	26
11	5,193	224	5,417	3,809	13	1,390	5,199	10,616	27
12	1,621	84	1,705	1,027	3	144	1,171	2,876	24
1	988	24	1,012	680	0	0	680	1,692	9
2	1,560	81	1,641	1,097	1	29	1,126	2,767	17
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43,080	1,757	44,837	33,008	122	7,540	40,548	85,385	266

(3) 施設の利用状況

① 講堂 37件

番号	申請者	利用日
1	皆野町立国神小学校	H31.4.19
2	秩父市立西小学校	H31.4.23
3	皆野町立皆野小学校	H31.4.26
4	友の会総会	R1.5.12
5	美里町立東児玉小学校	R1.5.16
6	松岩寺幼稚園	R1.5.23
7	日高市立高萩小学校	R1.5.29
8	北本市立南小学校	R1.6.5
9	立正大学大学院	R1.6.30
10	埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校	R1.7.4
11	大妻嵐山中学校	R1.7.10
12	武蔵野保育園	R1.7.19
13	花積幼稚園	R1.7.24
14	新座市立池田小学校	R1.7.26
15	合気道 掌法会	R1.7.28
16	ジャパンファイナルコールメディア	R1.7.30
17	七里ふたばこども園	R1.7.30
18	川口ふたば幼稚園	R1.7.31
19	越谷市立大袋北小学校	R1.8.1
20	羽生市青少年相談員協議会	R1.8.11
21	宮原クローバー学童	R1.8.16
22	尾久消防少年団	R1.8.18
23	フットメッセ川口元郷	R1.8.27
24	埼玉県立総合教育センター	R1.9.27
25	埼玉県立総合教育センター	R1.10.1
26	本庄市立共和小学校	R1.10.11
27	羽生市立新郷第一小学校	R1.10.11
28	目白研心中学校	R1.10.18
29	埼玉県立総合教育センター	R1.10.24
30	鶴ヶ島市立第一小学校	R1.10.30
31	久喜市教育委員会	R1.10.30
32	埼玉県立行田特別支援学校	R1.11.7
33	伸芽sクラブ学童	R1.11.10
34	自由学園中等部	R1.12.12
35	坂戸市環境学館いずみ	R2.1.12
36	友の会交流会	R2.2.16
37	東秩父村立城山保育園	R2.2.20

② 会議室 23件

番号	申請者	利用日
1	浦和大学	H31.4.20
2	友の会役員会	H31.4.24
3	飯能市立名栗中学校	R1.5.28
4	秩父市立荒川西小学校	R1.5.29
5	樹木医26期 同期会	R1.5.31
6	ボーイスカウト上尾第9、10団	R1.6.9
7	ボーイスカウト上尾第4団	R1.6.23
8	神の教会保育園	R1.7.4
9	ボーイスカウト熊谷第2団	R1.7.6
10	埼玉県産業労働部観光課	R1.7.7
11	埼玉平成中学校	R1.8.10
12	行田ラビッツスポーツクラブ	R1.8.10
13	スポーツフレンド秩父	R1.8.22
14	友の会役員会	R1.8.28
15	日本女子大学	R1.9.17
16	リヤンド太田	R1.9.29
17	埼玉盲ろう者友の会	R1.9.29
18	神川町立渡瀬小学校	R1.10.2
19	緑の少年団交流会	R1.10.4
20	友の会役員会	R1.10.10
21	三鷹市立第一中学校	R1.10.17
22	立教大学理学部	R1.12.1
23	友の会幹事会	R1.12.13

③ 科学教室 3件

番号	申請者	利用日
1	埼玉県立児玉白楊高等学校	R1.6.4
2	埼玉県立大宮北高等学校	R1.6.21
3	埼玉県立大宮北高等学校	R1.10.25

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

オリエンテーションホール天井のハロゲンスポット照明灯をLED化しました。生物展示ホールの大ジオラマの一部でボタン式スポット照明の改修を行い、動植物を見やすくしました。

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナー、鳥コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しい演出を図りました。

② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナーの展示物の追加、修繕・入替えに努めました。

(2) 特別展の実施 * ()は副担当

① タイトル：「知って！埼玉 化石でたどる2000万年」

期 間：令和元年7月6日(土)～令和2年1月13日(月)

会 場：企画展示室

見学者：56,757名

担 当：北川(半田)

概 要：多くの実物化石をもとに2000万年前から縄文時代まで、埼玉県の大地上と生物相の成り立ちを紹介。



② タイトル：「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：令和元年7月13日(土)～令和元年9月1日(日)

会 場：県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

見学者：30,069名

担 当：奥村(中村)

概 要：禍福両面のイメージとともに人と深い関わりを持つネズミの姿を、生態、文学、美術等多面的に紹介。



(3) 企画展示の実施 * ()は副担当

① タイトル：「要注意！野外の危険なもの」

期 間：平成31年4月1日(月)～令和元年6月23日(日)

会 場：企画展示室

見学者：24,492名

担 当：森田(須田)

概 要：野外に潜んでいる危険なものを、動物・植物・地質の各分野から紹介。



② タイトル：「地図と模型で見る埼玉の大地」

期 間：令和2年2月11日(火)～令和2年3月31日(火)

会 場：企画展示室

見学者：2,767名

担 当：井上(小林)

概 要：大地の成り立ちと生活や自然災害との関わりについて、模型と地図によって埼玉県地形や地質をわかりやすく紹介。



(4) パネル展示の実施 * ()は副担当

- ① タイトル：「埼玉にも砂丘があるの？」
期 間：平成31年4月1日（月）～令和元年6月30日（日）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：25,484名
担 当：井上（小林）
概 要：古利根川沿いに広がる日本でも最大級の面積を誇る内陸砂丘が埼玉にあることを紹介。
- ② タイトル：「みんな知ってる？埼玉の外来動物」
期 間：令和元年7月1日（月）～令和元年10月27日（日）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：41,511名
担 当：半田（曾根崎）
概 要：埼玉県内で見つかった外来動物に焦点を絞り、写真や解説パネルを使って紹介。
- ③ タイトル：「旅するタネの知恵」
期 間：令和元年10月29日（火）～令和2年1月13日（月）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：15,623名
担 当：森田（須田）
概 要：自分では動くことができない植物が生息域を広げるために運ばれる工夫、飛ぶ・流れる・食べられる・くっつくタネを紹介。
- ④ タイトル：「写真で見る埼玉県産鉱物」
期 間：令和2年2月11日（火）～令和2年3月31日（火）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：2,767名
担 当：小林（北川）
概 要：秩父鉱山産のスカルン鉱物をはじめ、埼玉県内で産出している鉱物を、地図と写真で紹介。

(5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「埼玉の自然を楽しむ」
期 間：令和元年7月13日（土）～令和元年8月26日（月）
会 場：羽生市立郷土資料館
見学者：7,229名
担 当：半田（曾根崎）
概 要：「夜の生きもの観察」「くらべてみよう」「かたどられた生きもの」「ハチを調べてみよう」の小テーマを設けて小学生に人気の動物を紹介。
- ② タイトル：自然の博物館移動展「水晶展」
期 間：令和元年7月10日（水）～令和元年7月28日（日）
会 場：飯能市市民活動センター
見学者：7,416名
担 当：小林（森田）
概 要：小さな水晶標本を通して、鉱物の美しさや鉱物学の基本を紹介。

(6) 音声ガイド(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
H31年4月	581	R1年10月	272
R1年5月	623	R1年11月	359
R1年6月	367	R1年12月	265
R1年7月	531	R2年1月	155
R1年8月	863	R2年2月	211
R1年9月	288	R2年3月	※
		合計	4,515

※2月29日から3月31日まで新型コロナウイルス感染予防対策のため休館



特別展「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」
マスコットキャラクター
「かやん、あかみん」

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、以下のような体験学習等の機会を提供しました。

(1) 自然史講座

7回（7日）参加者196名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当(副担当)
6.15(土)	水生昆虫の採集と観察	梅雨入り前の荒川や周辺の止水環境で、水生昆虫を採集して比較する。	※1	半田 (曾根崎)
7.26(金)	昆虫標本をつくろう	カブトムシ・セミなどの昆虫の仲間を題材にして、昆虫標本作りに挑戦する。また、標本の役割を学ぶ。	23	半田 (曾根崎)
8.2(金)	30種類の鉱物図鑑づくり	石英、雲母、黄鉄鉱、ザクロ石等30種類の鉱物を一箱に集める。自分だけのミニ鉱物コレクションを作る。	28	小林 (井上)
8.24(金)	講演会「化石サイの世界」	埼玉県から見つかっているサイ化石について、その発見についてや、化石からわかる日本の自然の成り立ちについて解説する。	24	北川 (井上)
9.21(土)	講演会「化石ゾウの世界」	最新のゾウ化石研究を踏まえ、ゾウ化石から日本の生物相の成り立ちについて解説する。	23	北川 (曾根崎)
10.26(土)	講演会「埼玉10万年の旅」	最近10万年間の埼玉県の地形の成り立ちについて解説する。	13	北川 (井上)
12.7(土)	研究発表会	県民向けに、学芸員の調査研究の成果や自然分野の話題について発表。	58	小林 (北川)
2.15(土)	化石のレプリカづくり	実物からレプリカをつくり、化石と見比べながら色を付けて本物そっくりに作り上げる。	27	北川 (森田)
2.29(土)	バックヤード探検	普段は見られない博物館の裏側、標本製作室を見学。 (「国際博物館の日」の関連イベント)	※2	森田 (北川)
3.28(土)	講演会「埼玉は西日本？模型でのぞく関東平野の地下世界」	関東平野について、産業技術総合研究所高橋雅紀氏が日本列島の形成史を模型で紹介。	※3	井上 (北川)

※1 天候不良のため開催中止

合計 196 名

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

※3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期

(2) 観察会

5回(5日)参加者153名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当(副担当)
4.20(土)	妙音沢湧水と春の動植物	台地のへりから湧き出す豊富な湧水と、妙音沢緑地の平野部に生息するカタクリなどの春植物や様々な昆虫を観察。	15	須田 (半田) (秋山)
5.18(土)	山里の自然観察 in 武州日野	山里を歩きながら、春の動植物を観察。	26	曾根崎 (須田) (小林)
6.29(土)	オオムラサキの森で自然観察	嵐山町にある「オオムラサキの森 蝶の里公園」で、この時期に現れる国蝶オオムラサキなどを観察。	※1	半田 (曾根崎) (秋山)
7.13(土)	ヤマユリと夏の植物観察	菅谷館跡の土塁に咲き誇る初夏の花ヤマユリと夏の植物を観察。 (嵐山史跡の博物館との共催)	61	須田
9.28(土)	天覧山 秋の自然観察	初秋の天覧山を植物や昆虫を中心に観察。	25	須田 (半田) (秋元)
10.12(土)	秋の岩畳観察会	秋の岩畳の総合観察会。地質や動植物を観察。	※1	小林 (森田) (内田)
11.9(土)	古秩父湾化石発掘体験バスツアー	秩父鉦山を訪れて鉦物や鉦床の様子を観察し、その産状や成因について学ぶバスツアー。	26	北川 (森田)
3.14(土)	地学散歩 in 熊谷	宿場町として栄えた熊谷の地質について解説。	※2	井上 (北川) (内田)

※1 天候不良のため開催中止

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

合計 153 名

(3) ミュージアムトーク *全日：日曜日

30回(30日)参加者763名

期 日	タイトル	参加者数	担当者	期 日	タイトル	参加者数	担当者
4.7	企画展展示解説	15	半田	10.6	特別展展示解説	12	北川
4.14	企画展展示解説	15	森田	10.20	学芸員と虎岩さんぽ	3	小林
4.21	ミニガイドツアー	22	内田	10.27	顕微鏡で小さいいきものをのぞいてみよう	22	内田
5.12	企画展展示解説	30	北川	11.3	顕微鏡の観察	30	森田

5.19	企画展展示解説	28	須田	11.10	スズメバチの話	30	半田
5.26	パニング体験	38	小林	11.17	特別展展示解説	30	北川
6.2	化石のクリーニング	68	北川	11.24	特別展展示解説	15	北川
6.9	企画展展示解説(地質編)	23	井上	12.1	空飛ぶタネの模型づくり	19	森田
6.16	企画展展示解説	18	須田	12.8	博物館 Q&A	30	内田
6.23	企画展展示解説	50	内田	12.15	増水に負けない! 岩畳の植物の話	20	須田
6.30	砂丘の話と展示替え実演	16	須田	12.22	孔雀石で銅メッキ	21	小林
9.1	川原の石を見てみよう	20	井上	1.5	ネズミとその仲間	24	曾根崎
9.15	火山灰の観察	30	森田	1.12	火山灰の観察	25	森田
9.22	展示実演	9	小林	2.11	企画展展示解説	44	※
9.29	秋のスズメバチ	36	半田	2.16	企画展展示解説	20	井上

※ 産業技術総合研究所 高橋雅紀氏

合計 763 名

(4) 各団体との共催・協力イベント

12回(15日)参加者7,225名

期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
7.13(土)	観察会「ヤマユリと夏の植物」(嵐山史跡の博物館共催)	嵐山史跡の博物館の敷地内に咲くヤマユリをはじめとする夏の代表的な植物を観察。	嵐山史跡の博物館	61
7.20(土) 7.21(日)	化石研究会シンポジウム(化石研究会との共催)	化石研究の成果を活かした取組事例の紹介や、化石研究者の講演、発表。	自然の博物館	62
7.24(水)	砂の中から水晶を見つけよう(飯能市市民文化センターとの共催)	火山灰として噴出した石英や水晶を土の中から洗い出し、標本を作製。	飯能市市民文化センター	37
7.27(土) 8.17(土)	特別展関連イベント「ネズミ」トーク	資料を前にネズミに関する見識をわかりやすく説明。	川の博物館	131

7.28(日)	かわはく夏祭り自然博ブース	かわはく夏祭り会場にブースを設け、イベント「色をぬってあなただけのハチをえがこう」を開催。	川の博物館	5,314
8.3(土)	昆虫標本をつくろう (羽生市立郷土資料館との共催)	昆虫標本の特徴や作り方を解説し、実際にスズメバチとチョウの標本を作製。	羽生市立郷土資料館	18
8.3(土)	展示解説(羽生市立郷土資料館との共催)	共催展「埼玉の自然を楽しむ」の展示解説。	羽生市立郷土資料館	71
8.3(土) 8.18(日)	特別展関連イベント 「ネズミ」クイズラリー	川の博物館館内の複数個所に「ネズミ」クイズを設置し、クイズを解きながら構内を巡りネズミの生態などを学習。	川の博物館	616
10.19(土)	埼玉県立総合教育センター 一般公開 集まれ!“センター探検隊”	顕微鏡を使用しての昆虫・土壌生物の観察。飛ぶタネの模型をつくり飛ばす体験。	県立総合教育センター	310
11.14(木)	かわはく秋祭り自然博ブース	かわはく秋祭り会場にブースを設け、イベント「ネズミの塗り絵」を開催。	川の博物館	192
11.24(日)	芸術文化ふれあい交流フェア	普段見ることのない小さな土壌生物を実際に取り出して顕微鏡で観察。	大宮ソニックシティ	300
1.18(土)	県立博物館8館合同 企画ミュージアムフォーラム「第9回学芸員合同研究発表会」	県立博物館の学芸員による研究成果に基づいた講演会。	歴史と民俗の博物館	113

合計 14,957 名

(5) その他事業

9回(116日)参加者2,338名

期日	タイトル	内容	会場	参加者数
4.1(月)～ 4.28(日)	古秩父湾スタンプラリー	天然記念物「古秩父」に指定された露頭5か所と当館の計6か所を巡るスタンプラリー。	自然の博物館 露頭5か所	440
5.10(金) ～ 6.30(日)	青もみじライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭のライトアップを実施。	自然の博物館	未計測
5.15(水)	ボランティア展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、埼玉の自然史・春の植物に関する研修会。	自然の博物館	9
7.14(日) 8.11(日) 9.14(土) 10.6(日) 11.24(日) 1.13(月)	特別展展示解説	特別展「知って！埼玉～化石でたどる2000万年～」について、担当学芸員が、展示の趣旨や見どころを解説。	自然の博物館	131
7.17(水)	ボランティア展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、特別展・埼玉の外来動物に関する研修会。	自然の博物館	10
7.30(火) 7.31(水)	夏休み自由研究相談室	夏休みの自由研究の相談会。	自然の博物館	81
11.1(金) ～ 11.24(日)	紅葉ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップした「カエデの森」など館庭のライトアップを実施。	自然の博物館敷 地内 カエデの 森	未計測
11.14(木)	県民の日記念イベント	昆虫標本展示、岩石等の顕微鏡観察、キャラクター塗り絵、化石クリーニング、友の会のブース設置等。	自然の博物館	1,659
2.20(木)	ボランティア展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会。	自然の博物館	8
3.1(日) ～ 3.31(火)	古秩父湾スタンプラリー	天然記念物「古秩父」に指定された露頭5か所と当館の計6か所を巡るスタンプラリー。	自然の博物館 露頭5か所	※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

合計 2,338 名

(6) 学校、社会教育関係団体等への学習支援

61回(61日)参加者2,799名

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において、出前授業の実施、講義・講演会の講師派遣により支援を行いました。

① 学校への支援

番号	日時	学校名・学校関係団体名 (◎: 3年以上連続、○: 2年連続)	学年	人数	種別	内容
1	5.8(水)	◎ 皆野町立皆野小学校	小2	60	体験学習	虎岩案内・解説
2	5.16(木)	◎ 美里町立東児玉小学校	小3 小4	52	体験学習	岩畳案内・解説
3	5.24(金)	◎ 筑波大学附属中学校	中2	218	体験学習	岩畳案内・解説
4	5.28(火)	飯能市立名栗中学校	中1	18	体験学習	岩畳案内・解説
5	5.28(火)	秩父市立尾田蒔小学校	小4	30	体験学習	水生生物の観察
6	5.29(水)	◎ 秩父市立高篠小学校	小3	44	体験学習	水生生物の観察
7	5.30(木)	○ 横瀬町立横瀬小学校	小4	63	体験学習	水生生物の観察
8	6.4(火)	○ 県立児玉白楊高等学校	高3	20	体験学習	水生昆虫・樹木、 雑草
9	6.7(金)	○ 秩父理科教育研究会	教諭	40	講演・講座	「秩父地域の化石群」と博学連携
10	6.7(金)	◎ 武南中学校	中1	20	体験学習	岩畳案内・解説
11	6.12(水)	○ 鶴ヶ島市立藤小学校	小5	84	体験学習	水生昆虫・樹木、 雑草
12	6.21(金)	◎ さいたま市立大宮北高校	高1	44	体験学習	岩畳案内・解説、 土壌動物調査
13	6.26(水)	◎ 長瀬町立長瀬第一小学校	小4	84	体験学習	水生生物の観察
14	6.27(木)	○ 本庄市立本庄南小学校	教諭	1	その他	学校植物の解説
15	6.30(日)	立正大学	大学生	44	体験学習	岩畳案内・解説
16	7.10(水)	大妻嵐山中学校	中2	71	体験学習	岩畳案内・解説
17	9.10(火)	◎ 深谷市立深谷西小学校	小6	100	出前授業	土地のつくりと 変化
18	9.11(水)	◎ 成蹊大学	大学生	12	講演・講座	博学連携について
19	9.17(火)	○ 日本女子大学	大学生	9	体験学習	岩畳案内・解説
20	10.3(木)	上里町立長幡小学校	小6	46	出前授業	土地のつくりと 変化
21	10.7(月)	所沢市立松井小学校	小6	100	出前授業	大地のつくり

22	10.11(金)	○	本庄市立本庄南小学校	教諭	2	その他	学校植物の解説
23	10.16(水)		寄居町立寄居小学校	小6	46	出前授業	土地のつくりと変化
24	10.17(木)		秩父農工科学高等学校(定時制)	高校生	20	体験学習	虎岩案内・解説
25	10.17(木)		皆野町立三沢小学校	小6	8	講演・講座	古秩父湾について
26	10.18(金)	◎	目白研心中学校	中1	47	体験学習	岩畳案内・解説
27	10.18(金)	○	横瀬町立横瀬小学校	小6	74	講演・講座	古秩父湾について
28	10.23(水)	◎	長瀬町立長瀬第一小学校	小5	44	体験学習	岩畳案内・解説
29	10.25(金)		さいたま市立大宮北高校	高1	26	体験学習	土壌動物調査
30	10.29(火)		深谷市立岡部小学校	小6	75	出前授業	土地のつくりと変化
31	10.31(木)	◎	秩父市立秩父第一小学校	小6	30	体験学習	化石採集 (ようばけ)
32	10.31(木)		皆野町立国神小学校	小6	18	出前授業	土地のつくりと変化
33	11.1(金)	◎	深谷市立榛沢小学校	小6	34	出前授業	土地のつくりと変化
34	11.1(金)		秩父市立尾田蒔小学校	小6	42	体験学習	化石採集
35	11.7(木)	◎	熊谷市立玉井小学校	小6	72	出前授業	土地のつくりと変化
36	11.8(金)	○	本庄市立本庄南小学校	小6	79	出前授業	土地のつくりと変化
37	11.15(金)	○	皆野町立皆野小学校	小6	64	出前授業	土地のつくりと変化
38	11.21(木)	○	皆野町立皆野小学校	小6	65	講演・講座	古秩父湾について
39	11.25(月)		鴻巣市立大芦小学校	小学生	42	体験学習	化石のレプリカ
40	11.26(火)	◎	長瀬町立長瀬第一小学校	小6	38	体験学習	岩畳案内・解説
41	11.27(水)	◎	熊谷市立長井小学校	小6	73	出前授業	土地のつくりと変化
42	12.12(木)	◎	自由学園中等部	中2	40	体験学習	岩畳案内・解説
43	12.13(金)	◎	自由学園初等部	小5	24	体験学習	化石採集 (ようばけ)
							合計 2,123 名

② 社会教育関係団体等への支援

番号	日時	社会教育関係団体・施設名 (◎: 3年以上連続、○: 2年連続)	学年	人数	種別	内容
1	4.14(日)	秩父ジオパーク「秩父いってんべえウォーキング」	一般	32	講座・講演	秩父の地質
2	4.24(水)	NPO法人新現役ネット	一般	20	講座・講演	館内展示の解説
3	5.23(木)	埼玉県弘済会大里支部	一般	100	講座・講演	埼玉の地質と化石
4	5.25(土)	暗渠マニアックス	一般	20	講座・講演	館内展示の解説
5	5.31(金)	樹木医26期 同期会	一般	12	講座・講演	埼玉の自然
6	6.2(日)	NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団	一般	20	講座・講演	石灰岩地基礎調査の結果
7	7.18(木)	ジオパーク秩父交流会	一般	20	講座・講演	秩父の地質
8	7.30(火)	館林ユネスコ協会(館林市社会教育課)	一般	45	体験学習	虎岩案内・解説
9	8.20(火)	芝南万年青学級	一般	41	講座・講演	館内展示の解説
10	8.23(金)	北区教育研究会理科部会	一般	11	講座・講演	館内展示の解説
11	8.30(金)	SLミュージアムトレイン(秩父鉄道)	一般	160	講座・講演	SLの車窓から見える地形の地質
12	9.8(日)	○ NPO法人 秩父まるごと博物館	一般	40	講座・講演	①要注意生物 ②ネズミワールド
13	10.17(木)	全国女性町長サミット	一般	17	講座・講演	館内展示の解説
14	11.5(火)	入間市立高倉公民館	一般	12	講座・講演	館内展示の解説
15	11.28(木)	◎ 東松山きらめき大学	一般	45	講座・講演	埼玉のネズミ
16	12.4(水)	○ 川越市川鶴公民館	一般	40	講座・講演	日本の地質
17	12.6(金)	ミャンマー国 JICA 研修	一般	13	講座・講演	館内展示の解説
18	1.12(日)	坂戸市環境学館いずみ	一般	28	講座・講演	館内展示の解説
						合計 676名

(7) 指導者対象講座の開催

1回(2日)参加者 35名

期日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
9.27(金) 10.1(火) 10.24(木)	教員のための博物館の日	県立総合教育センター主催の小・中学校初任者研修の一環として実施し、博学連携の充実を図った。 ※小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)内にて実施。	35	内田、森田

(8) 各種研修会・教育研究団体の受入れ

4回(4日)参加者 125名

※県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載。

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
9.12(木)	中学校5年経験者研修教科等コース(理科)	「埼玉産岩石標本の同定方法」の観察実習。	51	小林、森田
9.27(金)	小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)	博物館の利用方法の説明や荒川河川敷での自然体験プログラムの実践。	18	内田、森田
10.1(火)			17	
10.24(木)	中学校初任者研修教科別研修(理科)	博物館の利用方法の説明や荒川河川敷での自然体験プログラムの実践。	39	内田、森田、半田、小林
合計			125名	

(9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ

5回(21日)参加者 16名

期 日	タイトル	内 容	人数	備 考
8.1(木)~8.9(金) 8.4(日)、8.5(月)は休み	博物館学芸員実習	展示・資料整理・教育普及等博物館業務の実務実習。	6	立正大学(2) 東京農業大学 琉球大学 駿河台大学 東京都市大学
8.28(水)~9.1(日)	県庁インターンシップ	入館者対応の補助業務、博物館グッズの袋づめなど業務の補助。	3	跡見学園女子大学 東北大学 東洋大学
7.9(火)~7.11(木)	中学生職場体験学習	展示・資料整理・教育普及等博物館の実務の体験。	2	皆野町立皆野中学校
11.6(水)~11.8(金)			3	長瀬町立長瀬中学校
2.26(水)~2.28(金)	障害者県庁職場実習	広報用グッズづくりの実習。	2	NPO法人障がい者自立支援「自立工房山叶本舗」
合計			16名	

(10) 自然の博物館友の会の活動への支援

6回（7日）参加者141名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担 当
5.12(日)	岩畳の自然観察会	春の岩畳観察会にて解説。	26	森田
6.1(土)	植物観察会	長瀬町宝登山の植物・動物観察会にて解説。	27	須田
9.22(日)	総合観察会	熊谷市広瀬野鳥の森を訪ね、秋の川原の植物・動物観察会にて解説。	18	曾根崎
10.19(土) 10.20(日)	宿泊観察会（地質）	長野県大鹿村、岐阜県瑞浪市・中津川市の博物館を訪れ、中央構造線や瑞浪層群の化石観察会にて解説。	25	北川
11.14(木)	県民の日イベント	友の会の活動を紹介するブースを提供。	8	曾根崎
2.16(日)	交流会	動物・植物・地質の各分野の話題提供後の情報交換での助言。	37	曾根崎 森田 小林

合計 141 名

(11) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供し、重要なパートナーとして、博物館活動の質を高めることを目的に受け入れました。

ボランティアスタッフ 22名（①～④の重複者あり）

延べ活動日数 254日

- ① 展示解説ボランティア 10名
一般観覧者に対する展示解説。
- ② 普及事業ボランティア 16名
観察会・講座等の事業の補助。
- ③ 資料整理ボランティア 15名
専門知識のあるボランティアによる標本化作業の補助。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア 11名
博物館の調査研究・資料収集の補助。

(12) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布しました。

(表中の「主な配布先」の記号については、表2を参照)

表1

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第14号	100部	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第14号	600部	BFG
ミュージアムカレンダー①前期・②後期(年間イベント案内)	①150,000部 ②24,000部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「澗」 第33号～第34号	900部	BFG
特別展「知って! 埼玉 化石でたどる2000万年」 ①ポスター ②リーフレット ③図録	①400部 ②15,000部 ③1,000部	BCDEFG
川の博物館特別展「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」 ①ポスター ②リーフレット ③図録	①440部 ②21,200部 ③800部	ABCDEFG
企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」 ①ポスター ②リーフレット ③図録	①400部 ②15,000部 ③1,000部	BCDEFG
夏休みプレゼント企画PRチラシ	120,000部	A
古秩父湾スタンプラリー台紙	25,000部	ABCDEFG

表2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀨町観光協会、長瀨町内各事業所(店舗、観光施設等)
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイドンステキストなどを必要に応じて作成・印刷し配布しました。



ミュージアムカレンダー



古秩父湾スタンプラリー台紙



研究発表会要旨集



ニュースレター「澗」

(13) レファレンス数

一般市民をはじめ、マスメディア各社等へのレファレンス数は次のとおりです。

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
平成 31 年 4 月	15	7	19	19	60
令和元年 5 月	10	11	14	1	36
令和元年 6 月	9	12	12	0	33
令和元年 7 月	12	8	3	2	25
令和元年 8 月	20	8	53	0	81
令和元年 9 月	16	11	7	2	36
令和元年 10 月	10	12	6	0	28
令和元年 11 月	8	11	20	3	42
令和元年 12 月	3	3	14	2	22
令和 2 年 1 月	2	3	3	0	8
令和 2 年 2 月	8	4	11	0	23
令和 2 年 3 月	4	4	5	0	13
合 計	117	94	167	29	407

レファレンス対応を行った主なマスメディアは、NHK テレビ、NHKBS テレビ、NHK ラジオ、日本テレビ、TBS テレビ、テレビ埼玉、読売新聞、埼玉新聞、日経新聞等。

(14) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、ツイッター）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事などをホームページやツイッターで情報発信しました。

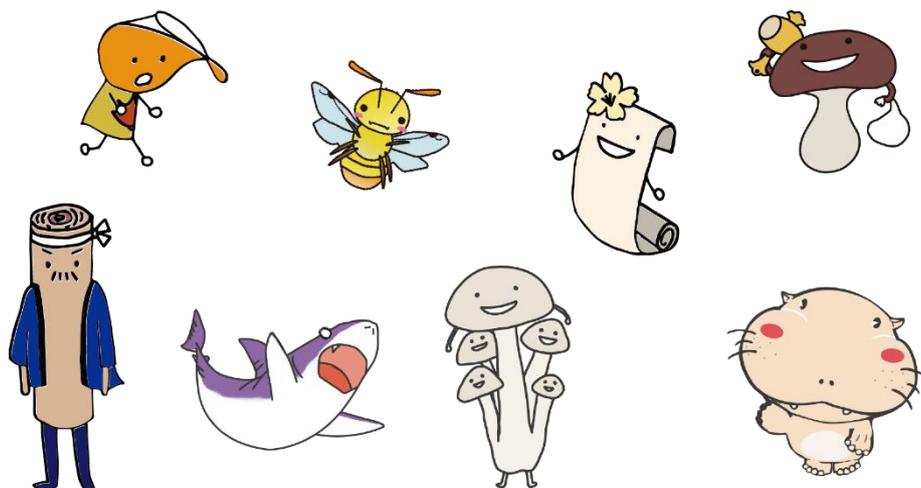
	ホームページ		ツイッター	
	アクセス数	更新回数	ツイート数	ツイートインプレッション数
平成 31 年 4 月	27,960	10	12	53,093
令和元年 5 月	27,000	6	8	49,438
令和元年 6 月	27,174	7	9	100,640
令和元年 7 月	31,826	8	12	72,852
令和元年 8 月	37,170	7	5	61,125
令和元年 9 月	31,758	4	5	45,946
令和元年 10 月	27,542	8	14	94,235
令和元年 11 月	29,926	15	15	85,369
令和元年 12 月	30,506	5	12	63,737
令和 2 年 1 月	17,959	6	14	91,601
令和 2 年 2 月	28,510	7	17	141,777
令和 2 年 3 月	26,892	3	5	51,950
合 計	344,223	86	128	911,763

* インプレッションとは、ツイートが表示された回数を表す。

イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先は下表のとおりです。

種類	主 な 提 供 先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、公明新聞、フジサンケイビジネスアイ、共同通信、時事通信、NHK、テレビ東京、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、NACK5、埼玉中央よみうり、埼玉北よみうり、埼玉東よみうり、FM茶笛
web	○県関連サイト ちよこたび埼玉（埼玉県公式刊行サイト）、生涯学習ステーション、自然大好きクラブ、イーシティさいたま、まいたま、kadokawa ニュースウォーカー ○その他各事業者運営サイト Nearby Tokyo、るるぶ kids、NEXT、ナビタイムジャパン、協同組合インフォメーション、イベントバンク、Dokka!おでかけ探検隊、いこーよ、ジョルダン、彩北なび!、リビングさいたま
広報紙 機関紙 情報誌等	○地方自治体関係 県教委だより、彩の国だより、県民手帳 ○その他各事業者 秩父鉄道広報紙「パレット」、なびまる秩父、全科協ニュース、日経 DUAL、埼玉ウォーカー、美しき日本全国観光資源台帳、ピースな時間、リセマム、絶景ドライブ、NEXT、ショッパー、ちちぶマガジン、列車大行進 2020、武州路



当館のマスコットキャラクター達

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施しました。

(1) 資料の登録(令和元年度新規登録資料) 合計814点

① 地質標本の登録

・化石 脊椎動物化石 (VeF)	4	・鉱物 (Mi)	17
菌類化石 (FuF)	2		
		合計	23

② 動物分野の標本の登録

・哺乳類 (Ma)	1	・爬虫類 (Re)	1
・両生類 (Am)		・昆虫類 有翅昆虫 (In)	137
		合計	140

③ 植物分野の標本の登録

・種子植物 被子植物 (As)	193	・シダ植物 (Pt)	458
		合計	651

(2) 現有資料点数(令和元年度新規登録資料含む)

〈地質〉

岩石 (Ro)	1,404	化石	藻類化石 (AlF)	113
岩石・鉱物スライド (RMS)	688		脊椎動物化石 (VeF)	674
鉱物 (Mi)	5,380		甲殻類化石 (CrF)	327
地質構造標本 (Gs)	40		昆虫化石 (InF)	237
第四紀火山碎屑物 (Qu)	42		無脊椎動物化石 (MoF)	3,583
その他地質資料 (OG)	649		その他の無脊椎動物化石 (OIF)	672
ボーリング資料 (Bo)	68		化石スライド (AFS、PFS、OFS)	1,665
化石 植物化石 (PlF)	2,429		生痕化石 (TrF)	92
		合計		18,065

〈動物〉

脊椎動物 哺乳類 (Ma)	599	節足動物 クモ類 (Ar)	19
鳥類 (Av)	907	ダニ類 (Ac)	1
爬虫類 (Re)	155	その他の蛛形類 (Ad)	2
両生類 (Am)	203	甲殻類 (Cr)	97
魚類・円口類 (Pi)	213	多足類 (My)	22
昆虫類 有翅昆虫類 (In)	25,675	無脊椎動物 軟体動物 (Mo)	1,965
無翅昆虫類 (Ap)	36,450	その他の無脊椎動物 (Iv)	26
		合計	66,334

〈植物〉

種子植物 被子植物 (As)	58,358	菌類 (Fu)	3,005
裸子植物 (Gy)	450	地衣類 (Li)	8,592
シダ植物 (Pt)	6,901	藻類 (Al)	22
コケ植物 (Br)	3,161	植物スライド (PlS)	258
		合計	80,747
		総計	165,146 (年比増加数 814)

(3) 受入資料

本年度に受け入れた資料は以下のとおり。

① 寄贈資料

番号	分野	資料名	点数	寄贈日
1	動物	コミミセンザンコウ	1点	R1.7.11

② 提供資料

地質 5 件、植物 13 件、動物 5 件

*「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態を受け入れたもの。これらの資料は標本化していないものも含む。

(4) 資料の特別利用

件数 11 件 点数 86 点

(5) 資料の館外貸出

件数 13 件 点数 150 点

(6) 館有資料の展示活用

① 館内での活用 合計 2,124 点

(内訳)

- ・常設展 1,847 点
- ・特別展「知って！埼玉 化石でたどる 2000 万年」 87 点
- ・企画展「要注意！野外の危険なもの」 190 点

② 館外での活用 合計 126 点

(内訳)

- ・「埼玉の自然を楽しむ」（羽生市立郷土資料館との共催） 67 点
- ・「自然の博物館移動展 水晶展」（飯能市市民活動センターとの共催） 59 点

※資料の他、解説パネルや写真も展示しました。

(7) 収蔵資料の web 公開

収蔵資料の一部を画像として当館ホームページに公開している。

① ベストコレクション 10 点

② 分野別資料 67 点（動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点）

(8) 生物多様性標本情報データベースへの公開

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「自然史標本情報データベース」に館有資料の情報を提供。提供件数 108,700 件

(9) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料を収集。多くは当館刊行物との交換によるもの。

① 図書資料の収集・整理 259 冊（文献交換によるもの含む）

② 文献交換状況

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行っている。

(交換先) 国内 298、国外 20

(10) 自然と川の博物館資料評価委員名簿（平成30・31年度）

○専門委員

（敬称略）

氏名	役職
長谷川 善和	群馬県立自然史博物館名誉館長
大野 正男	東洋大学名誉教授
石田 健	元東京大学准教授
鎧 禮子	聖徳大学名誉教授
山口 征矢	東京海洋大学名誉教授
松原 聡	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員

※その他、行政委員として、会計管理課長、財務課長、文化資源課長

5 調査研究事業

(1) テーマ「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記の総合研究テーマに基づき分野ごとに研究テーマを設定し、その後個人研究テーマを決め、調査研究にあたった。

① 分野別研究テーマ

- ・自然分野：埼玉の自然に関する研究
- ・環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究

② 個人研究テーマ

- ・石坂 俊郎 弥生～古墳時代集落における住居内祭祀行為
- ・曾根崎 猛史 埼玉県産希少ハチ目の生息調査
- ・井上 素子 令和元年水害の被害状況について
- ・小林 まさ代 秩父山地に分布するマンガン鉱山とマンガン鉱物について
- ・北川 博道 本邦新生界哺乳類化石の移入と絶滅
－日本の哺乳類動物相の成り立ちを紐解く－
- ・須田 大樹 ①県内の植生・維管束植物分布に関する研究
②コナラ属隔離分布種の生態に関する調査研究
- ・半田 宏伸 県内のセイボウ科の分布調査、並びに生殖器官の比較形態学
- ・内田 悟 学校と博物館の実質的な連携を目指して
- ・奥村 みほ子 埼玉県内における哺乳類の生息状況の解明
- ・中村 修美 カマアシムシ類の分類及び生物地理学的研究

(2) 研究業績の公表

(1)の研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するよう努めた。

① 当館が発行した刊行物

ア 埼玉県立自然の博物館研究報告 第14号（ゴシック体：当館職員）

原著論文3件、短報3件、資料4件、訂正1件を掲載。

○ 原著論文

ジオパーク秩父の新ジオサイト34ヶ所の評価とその改善案

高木秀雄・廣瀬智美 1 - 10

遺伝子解析に基づく両神山産コイワザクラ（サクラソウ科）の分類学的考察
山本将也・平誠 11 - 16

埼玉県におけるミズスマシ（コウチュウ目，ミズスマシ科）の衰退要因と山梨県における分布状況
岩田泰幸・富樫和孝・岩田朋文 17 - 24

○ 短報

埼玉県深谷市平方付近の上部中新統，楊井層から菌類化石の発見
楡井 尊・佐久間大輔・秋山高宏 25 - 28

クロヤツシロラン（ラン科）を埼玉県秩父市に記録する
斉藤 忠・岩田豊太郎・林由季子 29 - 32

埼玉県におけるコマルケシゲンゴロウの初記録
岩田朋文・渡部晃平・岩田泰幸 33 - 36

○ 資料

埼玉県日高市のシダ植物目録
石渡孝行・佐藤 清・植田雅浩・須田大樹 37 - 42

さいたま市緑区のカメムシ類（昆虫綱：カメムシ目）
奥田恭介 43 - 52

荒川中流域の1地点における埼玉県絶滅危惧種の水生甲虫の生息状況
岩田泰幸・内田大貴 53 - 58

神流川・烏川の本川合流地点上流付近における鳥類相（1974年～1983年の記録）
渡辺朝一 59 - 68

○ 修正

北本市デーノタメ遺跡の花粉分析結果（楡井，2013）の訂正
楡井 尊 69

イ ニュースレター「瀨」

○ 33号

- ・令和元年度特別展「知って！埼玉 化石でたどる2000万年」
見どころを御紹介！ 半田 宏伸 2 - 3
- ・石灰岩地基礎調査を実施しました！ 須田 大樹 4 - 5
- ・建築物としての自然の博物館 飯田 徹 6
- ・効果的な博学連携を目指して 森田 知貴 7
- ・博物館クイズ・カードを更新しました！
催し物のお知らせ（11月～3月） 秋元 清二 8

○ 34号

- ・令和元年度企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」 井上 素子 2 - 3
- ・パネル展「写真で見る埼玉県産鉱物」 小林まさ代 4
- ・令和元年度の展示改修
～オリエンテーションホールが明るくなりました～ 半田 宏伸 5
- ・樹木名シートを設置しました 須田 大樹 6
- ・本年度も「古秩父湾スタンプラリー」を開催します！ 秋元 清二 6

- ・自然の博物館の建物と風景 飯田 徹 7
- ・パレオパラドキシア 3Dペーパーパズル販売中！ 内田 悟 8
- 催し物のお知らせ（4月～10月） 秋元 清二 8
- ウ 令和元年度研究発表会資料集（通算第24回）
 - 一般普及講演 2件・研究発表 6件で、埼玉県立自然の博物館で行った研究発表会の資料をとりまとめたもの。
 - 一般普及講演
 - 「パレオパラドキシア発掘物語」 坂本 治
 - 「“謎”の生物パレオパラドキシアの“謎”はどこまで解けたのか？」 北川 博道
 - 研究発表
 - 「ハチ目セイボウ亜科における卵巣小管の形態比較とその寄生戦略（予報）」 半田 宏伸
 - 「クロオオアリの体内カレンダー」 曾根崎猛史
 - 「ネズミの「ネ」の字はどう書くの？～ネズミ展について～」 奥村みほ子
 - 「埼玉県内の石灰岩地で新たに見つかったリュウキュウマメガキ・ヨコグラノキについて」 須田 大樹
 - 「安谷川マンガン坑跡に見られるチャート中の黒色層の正体」 小林まさ代
 - 「企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」の見どころ」 井上 素子
 - エ 特別展「知って！埼玉 化石でたどる2000万年」展示解説書 北川博道・半田宏伸
楡井 尊・半田直人
 - オ 特別展「根・子・ねずみ～ネズミワールドへようこそ～」展示解説書 奥村みほ子・石坂俊郎

② 個人論報文・発表

学芸職員による25件の論報文の公表、学会等での発表を行った。

- 石坂 俊郎
 - ・「屋内祭祀の舞台（4）－赤砂・小砂利の「祭壇状遺構」再論－」
『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号（2020）
- 曾根崎猛史
 - ・埼玉県東部の低標高地におけるクロオオアリ *Camponotus japonicus* の分布. 埼玉動物研通信、(90)：132-134
- 井上 素子
 - ・ブラタモリ番組制作に学ぶ博物館のアウトリーチ活動の在り方. 日本地球惑星科学連合大会2019年大会, パブリックセッション「ブラタモリの探求「つたわる科学」のつくりかた」講演要旨. (口頭発表)
 - ・ブラタモリ番組制作に学ぶ博物館のアウトリーチ活動の在り方. 地理64-2, 古今書院.
- 森田 知貴
 - ・埼玉新聞連載「要注意！野外の危険なもの⑤展示の見どころ」埼玉新聞社.
- 須田 大樹
 - ・自然の博物館石灰岩地基礎調査について. 平成31年度NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団調査員会議・研修会. NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団. (口頭発表)
 - ・The partnership of the Museum and the local governments to protect fossils and

- outcrops of the layer -The Case of “Paleo-Chichibu-Bay”. 国際シンポジウム「研究活動，資料収集，普及教育，アウトリーチを推進するツールとしての自然史博物館ネットワーク：アジアの事例研究」. 自然史学会連合・京都大学総合博物館. (ポスター発表)
- 奥村みほ子
 - ・ネズミがドングリをかじると. 第8回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム 2019-木-レジュメ. 埼玉県立歴史と民俗の博物館：p. 12-13.
 - 北川 博道
 - ・Hiromichi KITAGAWA, Daiki SUDA, Mai SEKIGUCHI, Tomoko ISODA, Akira MOCHIZUKI and Takahiro KOENUMA, 2019. The partnership of the Museum and the local governments to protect fossils and outcrops of the layer -The Case of “Paleo-Chichibu-Bay”. The Union of Japanese Sciences for Natural History co-organized international Symposium, Kyoto. (ポスター発表)
 - ・北川博道. 2019. 国天然記念物になった世界一のパレオパラドキシアコレクション. 第37回化石研究会総会・学術大会シンポジウム講演.
 - ・北川博道. 2019, 意外と多様な？更新世の化石クマ相. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集 p22. 静岡県. (口頭発表)
 - ・北川博道. 2020, 埼玉県新産パレオパラドキシア化石とパレオパラドキシアの成長. 日本古生物学会 169 回例会講演予稿集 p22. 東京都. (口頭発表)
 - 半田 宏伸
 - ・〈解説〉ハチ目有剣類のすすめ. 寄せ蛾記、(174)：1-8
 - ・埼玉県初記録のセイボウ科の採集記録. 埼玉動物研通信、(90)：26-28
 - ・埼玉県 RDB 掲載のギングチバチ科 4 種の追加記録. 埼玉動物研通信、(90)：29-32
 - ・埼玉県内 1985 年のキイロモモブトハバチの記録. 埼玉動物研通信、(90)：32-33
 - ・県内のオデコフタオビドロバチの追加記録. 埼玉動物研通信、(90)：33-34
 - ・埼玉県内のナミルリモンハナバチの追加記録. 埼玉動物研通信、(90)：34-36
 - ・寄居町荒川河川敷でキバネツノトンボを確認. 埼玉動物研通信、(90)：36-37
 - ・埼玉県 RDB に掲載される甲虫類 3 種の採集記録. 埼玉動物研通信、(90)：37-39
 - ・埼玉県秩父市でオカマルセイボウを採集. 寄せ蛾記、(176)：6
 - ・静岡県伊豆半島におけるキバナガデオキスイ *Carpophilus (Myothorax) mitilatus* Erichson, 1843 の記録と生息環境についての知見. さやばねニューシリーズ、(34)：26-28 (共著)
 - ・セイボウの生態～空飛ぶ宝石蜂の寄生戦略～. 第9回学芸員合同研究発表会—ミュージアムフォーラム—講演要旨、1-4. (口頭発表)
 - 中村 修美
 - ・日本産“キンリョウイカマアシムシ”の現状. だろのむし通信 73 号, 日本土壤動物学会, p. 7-10.
 - ・日本昆虫目録 第1巻 無翅昆虫各目 日本昆虫目録編集委員会編, 分担(カマアシムシ目, コムシ目)執筆.

(3) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業（通常調査）

台風19号による調査地の荒廃のため、カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する聞き取り調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得た。（期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(4) 外部研究者

① 外部研究者の受入れ

令和元年度に受け入れた外部研究者は以下の19名。

	氏名	テーマ	分野	担当者
1	石井克彦	「埼玉県におけるガロアムシの記録」および「県内外来種情報の収集」	動物1	曾根崎
2	岩田泰幸	埼玉県の水生昆虫類の生態及び分布に関する研究	動物2	曾根崎
3	碓井 徹	埼玉県に近年になって侵入した外来昆虫数種の分布拡大の様相についての研究	動物3	曾根崎
4	奥田恭介	埼玉県産カメムシ目昆虫相の研究	動物4	曾根崎
5	金子陽子	花粉分析による古環境の復元	地質1	井上
6	小林健助	花粉分析による古環境の復元	地質2	井上
7	坂本 治	秩父盆地産脊椎動物化石および地質関連資料についての調査研究	地質3	井上
8	佐藤 健	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息分布状況の研究	動物5	曾根崎
9	鈴木幸枝	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	地質4	井上
10	清家一馬	放射性・安定同位体に基づく地史の復元	地質5	井上
11	関根一昭	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩の成因に関する地質学的研究	地質6	井上
12	田留健介	日本産地衣寄生菌の分類学的研究	植物1	須田
13	楡井 尊	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	地質7	井上
14	野澤雅美	埼玉県のカメムシ相に関する研究 サシガメ類・カスミカメムシ類及びキジラミ類を中心として	動物6	曾根崎
15	逸見紀章	骨格標本を作製し、骨の仕組みを知る	動物7	曾根崎
16	本間岳史	1、板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 2、長瀬の地質および研究史に関する研究 3、ジオパークに関する研究	地質8	井上

17	本多由巳子	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	地質 9	井上
18	町田和彦	哺乳類の生態および分類の研究 －特にコウモリ類を対象に－	動物 8	曾根崎
19	吉田考造	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	植物 2	須田

② 外部研究者による研究実績の公表 (2020.2月現在)

○ 岩田 泰幸

- ・富樫和孝・岩田泰幸・七沢智樹, 2019. 上翅の円紋を欠くシマゲンゴロウ. 月刊むし, (583) : 61-62.
- ・齋藤孝明・岩田泰幸, 2019. 相模川水系におけるセスジダルマガムシ属 2 種の流程分布. 神奈川虫報, (198) : 21-24.
- ・岩田朋文・佐野真吾・栗原 隆・岩田泰幸, 2019. 栃木県のクビボソコガシラミズムシとカミヤコガシラミズムシの再検討. インセクト, 70(1) : 5-11.
- ・岩田泰幸・新井浩二・岩田朋文・渡部晃平, 2019. 埼玉県におけるニセコウベツブゲンゴロウの新記録とコウベツブゲンゴロウの既知記録の削除. さやばねニューシリーズ, (35) : 46-47.
- ・岩田泰幸, 2019. 文化財害虫とその防除. かびと生活, 12 (1) : 8-12.
- ・岩田泰幸, 2019. 「山梨県におけるコガタガムシの生息状況 (岩田ほか, 2019)」の誤記の訂正と, 本亜種学名の表記に関する覚書. さやばねニューシリーズ, (36) : 14-15.
- ・岩田泰幸, 2019. コクゾウムシを用いた殺虫処理効果判定用テストサンプルの低温耐性の検討. 文化財の虫菌害, (77) : 21-24.
- ・岩田泰幸, 2019. こらむ 写真だけで虫の種類がわかるか. 文化財の虫菌害, (78) : 31-32.
- ・岩田朋文・渡部晃平・岩田泰幸, 2020. 埼玉県におけるコマルケシゲンゴロウの初記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (14) (3月中発行予定)
- ・岩田泰幸・富樫和孝・岩田朋文, 2020. 埼玉県におけるミズスマシ (コウチュウ目, ミズスマシ科) の衰退要因と山梨県における分布状況. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (14) (3月中発行予定)
- ・岩田泰幸・内田大貴, 2020. 荒川中流域の 1 地点における埼玉県絶滅危惧種の水生甲虫の生息状況. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (14) (3月中発行予定)
- ・岩田泰幸, 2020. 文化財害虫 (ニセセマルヒョウホンムシ成虫およびヒメカツオブシムシ幼虫) の高温処理における致死条件について. 文化財保存修復学会誌 (古文化財之科学) (63) (3月中発行予定)

○ 碓井 徹

- ・碓井 徹, 2019, ムネアカハラビロカマキリの未発見メモ (1). 寄せ蛾記, (173): 22. 埼玉昆虫談話会. 2020, 市販竹箒に付着のムネアカハラビロカマキリの卵鞘, 3例目の発見. 寄せ蛾記, (175): 57-60.
- ・碓井 徹, 2019, 小川町古寺鍾乳洞の動物相調査 (1). 埼玉動物研通信, (90): 73-74. 埼玉県動物研究会.

- ・碓井 徹, 2019, 埼玉の大切な自然. 彩の国いきがい大学 講師 (4回).
- ・碓井 徹, 2019, 2020, 上尾市自然学習館 指導員研修 講師 (4回).
- ・植村雄一・林 正美・碓井 徹・林田直哉・三好智和, 2019, 外来種タケオオツクツク 2019年調査報告. *Cicada*, 26: 11-16. 日本セミの会.
- ・長太伸章・碓井 徹・林 正美, 2019, DNA解析によって中国製竹箒のセミ卵はタケオオツクツク *Platylomia pieli*と確認. *Cicada*, 26: 15-17.
- ・西田 彰・碓井 徹, 2019, 栃木県におけるトガリアメンボの追加記録. 寄せ蛾記, (173): 41-42.
- ・林 正美・碓井 徹・植村雄一・林田直哉・三好智和, 2019, 外来種タケオオツクツク 2018年調査報告(続報). *Cicada*, 25: 47-51.
- 奥田 恭介
 - ・奥田恭介, 埼玉県におけるミナミアオカメムシの記録. *Rostria* 63: 61-62
 - ・奥田恭介・小松孝寛, クロスジホソアワフキの九州からの初記録. *Rostria* 63: 103-104
 - ・中谷至伸・友国雅章・野澤雅美・奥田恭介・相馬純, 2019. 関東地方で2018年に発見された北米原産のナガカメムシ *Neortholomus scolopax*. *Rostria* 63: 87-90.
 - ・奥田恭介・内田博, 埼玉県におけるアシボソトビイロサシガメの採集記録 寄せ蛾記 172:62-64
 - ・奥田恭介・田悟敏弘, 埼玉県におけるヒメマダラナガカメムシの初記録 寄せ蛾記 172: 64-65
 - ・奥田恭介・吉川明宏・石川 忠, 日本産ホソサシガメ属の分類学的研究 第三回関東昆虫学研究会支部会.
 - ・野澤雅美・奥田恭介・室 紀行, 埼玉県から新たに記録されるカメムシ類 寄せ蛾記 175: 1-6
 - ・田悟敏弘・奥田恭介, 埼玉県内におけるイネカメムシ再発見の記録 寄せ蛾記 175: 7-10
 - ・奥田恭介, さいたま市緑区のカメムシ類(昆虫綱:カメムシ目)埼玉県立自然の博物館研究報告(14)3月頃出版予定.
 - ・奥田恭介, 日本からのモモブトトビイロサシガメ短翅型の記録. *Rostria* 64: 3月までに出版予定.
- 佐藤 健
 - ・佐藤 健・鈴木 忠, 長瀬町宝登山で発見された興味深いトゲクマムシ属(異クマムシ綱)2種について(ポスター発表)(3月予定)
 - ・佐藤 健・鈴木 忠, 2020. 長瀬町宝登山で発見された興味深いトゲクマムシ属(異クマムシ綱)2種について *Hiyoshi Review of Natural Science Keio University* No. 67, 35-41 (2020) (3月予定)
- 清家 一馬
 - ・清家一馬・岩野英樹・檀原 徹, 2020, 基盤岩に注目した和泉堆積盆北縁部のテクトニクス: 和泉層群と大沢礫岩, 泉南流紋岩類牛滝川流紋岩溶岩の層序関係の再検討. 大阪市立自然史博物館研究報告, No. 74, 23-43. (2020年3月出版, 初校校正中)
 - ・木村由莉・山田桂太・関あずみ・鈴木希実・清家一馬, 小動物の呼気中の炭素安定同位体比に認められる母乳効果と同位体古生態学への意義. 2020年2月, 日本古生物学会例会(口頭発表)
- 田留 健介
 - ・田留健介, 「日本新産のボタンタケ目ビオネクトリア科地衣生菌2種について(口頭発表)」

日本菌学会第 63 回大会，2019 年 5 月 25 日（土）-26 日（日），秋田県立大学生物資源科学部秋田キャンパス

○ 楡井 尊

- ・楡井 尊，第 3 節花粉分析（第 4 次調査区（1）花粉分析．デーノタメ遺跡総括報告書（第 2 分冊）．北本市埋蔵文化財調査報告書第 22 集，431-453．北本市
- ・楡井 尊，特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書（花粉分析部分を担当）．さきたま史跡の博物館刊．3 月末発行予定．

○ 野澤 雅美

- ・野澤雅美，2019．ライトトラップで昆虫採集を楽しむ．みんなの自然史(89)：7．（埼玉県立自然の博物館友の会）
- ・野澤雅美，2019．埼玉県に侵入したカメムシ類について．埼玉動物研通信(90)：4-10．（埼玉県動物研究会）
- ・野澤雅美，2020．埼玉県で採集されたベニナガムギカスミカメの記録．Rostria(64)：18-19．（日本半翅類学会）
- ・野澤雅美，2020．埼玉県から新たに記録されるカメムシ類．寄せ蛾記(174)：（埼玉昆虫談話会）（投稿中）
- ・野澤雅美，2020．埼玉県で採集されたヒヨロカスミカメ属 *Pseudoloxops* 2 種の記録．Rostria(64)：56-57．（日本半翅類学会）（投稿中）

○ 本間 岳史

- ・本間岳史，2019．中川低地の河畔砂丘群を探る．埼玉・人とこころ，令和元年 5・6 月号：7-9，埼玉文化懇話会．
- ・本間岳史，2019．野外調査研究会におけるテーマ別部会活動の提案．野外調査研究，(3)：7-11，野外調査研究会．
- ・本間岳史，2019．海に沈んだ大陸の謎—最新科学が解き明かす激動の地球史（本の紹介）．野外調査研究，(3)：155-156，野外調査研究会．
- ・本間岳史，2019．深谷断層（活断層）の断層地形と科学的特性マップ．地学団体研究会第 526 回日曜地学ハイキングテキスト，：1-11，地学団体研究会埼玉支部・日曜地学の会．
- ・本間岳史，2019．深谷断層の断層地形と「核のゴミ」の地層処分（ポスター発表）．令和元年度埼玉県高等学校理化研究会地学研究大会（久保田郁夫・関根一昭・本間岳史・久津間文隆の連名）．
- ・本間岳史，2019．秩父青石の採掘現場を探る（口頭発表）．NPO 法人 秩父まるごと博物館 講座・講演会，レジュメ，：1-4．

(5) 地方公共団体・関連団体への指導・助言

氏名	委員名等	依頼・委嘱	期間
石坂俊郎	群馬県立自然史博物館専門委員	群馬県立自然史博物館長	H31.4.1～ R2.3.31
井上素子	秩父まるごとジオパーク推進協議会 運営委員	秩父まるごとジオパーク 推進協議会会長	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	埼玉県希少野生動植物種検討委員会 委員	埼玉県知事（みどり自然 課長）	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	武甲山特殊植物保護増殖委員会委員	横瀬町教育委員会	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	自然史学会連合博物館部会委員	自然史学会連合会長	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	石戸蒲ザクラ保存検討委員会委員	北本市教育委員会	H31.4.1～ R2.3.31
中村修美	ユネスコエコパーク保全活用委員会 委員	山梨県森林環境部長	H31.4.1～ R2.3.31

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組

- (1) パレオパラドキシア 1 / 1 復元模型製作・設置
- (2) 収蔵及び借用資料を用いた特別展「知って！埼玉～化石をたどる2000万年～」の開催
(令和元年7月6日～令和2年1月13日)
- (3) 古秩父湾化石発掘体験バスツアー（令和元年11月19日実施）